

## 当院の褥瘡防止対策について

「褥瘡」とは、皆さんもよくご存じの通り、寝たきりなど同じ体位をとることによって圧迫やズレが生じ、その部分の血流が途絶え皮膚の一部が赤くなったり、皮膚が捲れたりして傷ができてしまう状態をいいます。一般的に「床ずれ」とも言われます。

当院の褥瘡対策は、入院時に全患者様に対し7項目の褥瘡の危険因子（リスク）の評価を行っています。もし一つでも当てはまる場合は、直ちに看護計画を立案し、ケアを開始します。さらにその看護計画が患者様に適しているかを定期的に評価・検討し、その時の患者様の状態に合わせ計画を修正していきます。

もし、褥瘡が発生してしまった場合や、院外発生（持ち込み）の患者様がおられる場合は、褥瘡対策チームのメンバーが週に1回褥瘡回診を行います。メンバーは医師、看護師、管理栄養士から構成されています。回診では褥瘡の状態観察やケアの方法はもちろん、栄養面からのアプローチ、リハビリの進行状況を含め、様々な側面から褥瘡治癒に向けて検討を行います。

特に栄養面に関しては、褥瘡と栄養は非常に深い関連があると認識されています。当院は各病棟に専属の管理栄養士を配属しており、特に褥瘡のある患者様に対しては栄養補助食品の提案・提供を積極的に行い、褥瘡治癒に高い効果をあげています。



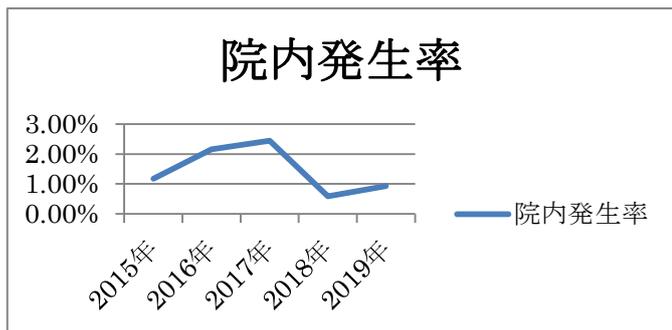
↑当院で実際使用している栄養補助食品

また、リハビリと褥瘡の間にも深い関係があります。患者様のポジショニングやシーティング（座位時の姿勢）、拘縮予防に関しては、リハビリスタッフと看護師が情報を常に共有し、連携を取り合っています。

当院は2018年3月から全病棟が回復期リハビリテーション病棟となり、療養病棟があったころに比べると、褥瘡の院内発生率は随分低下してきました。（2019年は院内発生率 0.93%）

しかし、褥瘡はいつ発生してもおかしくないという認識を各スタッフが持ち、発生予防と早期治癒に向けて多職種が連携を取り合っており、今後も褥瘡対策に努めていきたいと思っております。

褥瘡対策委員会 看護師 中川 美和子



**腰痛サポートダイヤル**  
090-2382-8432  
受付時間 9:00~15:30  
(月曜日~金曜日、祝日除く)



**腰痛サポートカー**  
病院外来・診療所からの  
直接依頼に対応します  
遠方の場合・・・  
介護タクシーを手配します

時間外対応については翌日患者宅へ電話対応  
詳しくは地域連携部にお問い合わせ下さい  
**077 - 526 - 2144**